

令和8年度 地方創生関連事業の概要

今年度の地方創生事業をご紹介します。これらの事業は、国の交付金や企業版・個人版ふるさと納税などを最大限活用して実施しており、ここに記載している事業費に対する実質的な町の負担はありません。

屋内練習場整備をはじめとしたスポーツ環境の充実や、プロスポーツ合宿受入等による町内経済循環創出

【新規】人と経済を育てる スポーツ共創のまち「東川スポまち推進事業」 【事業期間】R8～R10

【総事業費】2,865,640千円(ソフト549,240千円 拠点整備2,022,900千円 インフラ整備293,500千円)

【R8年度事業費】1,430,020千円(ソフト166,580千円 拠点整備1,182,940千円 インフラ整備80,500千円)

担当：生涯学習推進課、経済振興課ほか

【目的】Jリーグの秋春制移行に伴う合宿需要の高まりを契機に、プロスポーツ合宿を安定的に受け入れられる環境を整え、町内消費や雇用創出などの経済効果を最大化することを目的としています。スポーツ施設整備を核に、交流や消費を促す取り組みを展開することで、地域経済の活性化に加え、人材育成や健康増進、関係人口の拡大、将来的な移住・定住につながる持続可能な地方創生モデルの実現を目指します。

【事業概要】新たな合宿誘致や受け入れ体制を構築するとともに、スポーツ施設や受け入れインフラを整備し、プロスポーツチームなどの合宿受け入れ拡大を図ります。また、新たな人の流れを町内の消費につなげる施策、関係人口や移住・定住の促進、地域住民の健康づくりや人材育成などにも取り組み、外部のスポーツ人材や企業と連携した好循環を生み出します。

【主な内容】

- 新たな人の流れに対応した受け入れ環境整備の推進
- スポーツ人材や企業などと連携したアウトター・インナー施策の推進
- 官民連携による合宿受け入れの推進と、関係人口・移住定住の創出拡大
- 全天候型屋内運動施設の整備（東川ゆめ公園内）
- スポーツ人材などの受け入れ基盤整備に係る道路・下水道整備（東川ゆめ公園等）



天人峡公園整備による受入環境整備・観光誘客の推進による地域再生と観光振興

【新規】大雪山国立公園天人峡自然環境整備による観光誘客推進プロジェクト 【事業期間】R8～R10

【総事業費】1,583,390千円(ソフト178,690千円 インフラ整備1,404,700千円)

【R8年度事業費】498,380千円(ソフト48,380千円 インフラ整備450,000千円)

担当：適疎推進課、経済振興課ほか

【目的】大雪山国立公園天人峡地域を再生し、安全で快適な利用環境を整備するとともに、官民連携による高付加価値観光施策を展開することを目的としています。これにより、観光客の回復を図り、地域経済の活性化や雇用創出、関係人口の拡大を通じて、自然資本の保全と活用の好循環を実現し、圏域全体の観光振興につなげます。

【事業概要】天人峡地域では、公園整備による安全で快適な受け入れ環境づくりと、ソフト施策による誘客促進、体制再編、地域内外の理解促進を一体的に進めます。地域の持続的な活用と価値向上を図り、観光地としての魅力を高めていきます。

【主な内容】

- 案内情報や交通アクセス改善による受け入れ環境整備
- 天人峡地域の魅力を生かした国内外への観光誘客推進と受け入れ体制の再構築
- 天人峡地域への理解促進と、関係人口の創出拡大
- 大雪山国立公園天人峡地域の道路・公園整備



家具産地としての認知向上、市場開拓、ものづくり人材の育成等による地域産業の振興と経済循環の創出

【継続】ものづくりの力でヒト・モノ循環「東川 MADE プロジェクト」 【事業期間】R7～R9

【総事業費】581,420千円(ソフト事業581,420千円)

【R8年度事業費】199,070千円(ソフト199,070千円)

担当:経済振興課、適疎推進課ほか

【目的】木工家具産業の需要拡大、収益性の向上、担い手の確保を通じて、「旭川家具」を製造する家具産地として振興を図り、木工家具事業者の従事者数の増加、移住者の増加、家具を軸とした新たな経済効果の創出を目指します。東川町のものづくりの力を生かし、「ヒト」と「モノ」の循環による持続可能な産業づくりを進めることで、「ものづくりをするなら東川町」というブランドイメージを確立し、地域の稼ぐ力と雇用の創出につなげます。

【事業概要】旭川家具産地としての認知向上や市場開拓、地元資源やデジタル技術を活用した新たなものづくりの推進、人材育成による担い手確保などを総合的に進め、UJターンによる人口維持や関係人口拡大、町内経済循環につながる取り組みを展開します。

【主な内容】

- 家具産地の国内外での認知向上と、輸出を含む市場開拓等による新たな需要拡大
- デジタル技術や地元資源を活用した新たなものづくりの推進による、原材料の安定供給と収益性向上
- ものづくり人材の発掘・育成による担い手確保



留学生の受入環境整備、就職・定着支援、地域との関係づくりによる多文化共生と担い手確保の推進

【継続】多文化共生 2.0「つながる HIGASHIKAWA 共生モデル」 【事業期間】R7～R9

【総事業費】889,730千円(ソフト事業569,030千円 拠点整備事業320,700千円)

【R8年度事業費】207,900千円(ソフト 207,900千円)

担当:多文化共生課、文化交流課ほか

【目的】日本語教育による留学生受け入れにとどまらず、就職や地域定着、卒業後の関係構築まで見据えた包括的な仕組みを構築します。留学生が「東川町で学ぶ」「地域で働く・暮らす」「卒業後も東川の一員として関わり続ける」流れをつくることで、地域人口の維持、担い手確保、関係人口の創出・拡大、地域経済の活性化につながる取り組みを推進します。

【事業概要】留学需要の高まりや、就職など多様化するニーズに対応した受け入れ環境と人材育成体制を整備します。

あわせて、地元企業と留学生のマッチングや就職支援、卒業後も町とつながり続ける仕組みづくりを進め、持続可能な多文化共生モデルを推進します。

【主な内容】

- 地域内の受け入れ体制強化と、日本語教育にとどまらない多様な育成機会の創出
- 留学生と地域企業の相互支援による担い手人材の確保と地域経済の活性化
- 町と多様な留学生がつながり続ける仕組みの構築と、関係人口化の推進



子ども・子育て世帯への支援や地域全体で子どもを育てる仕組みづくりによる、子育て世代に選ばれるまちづくり

【継続】子どもをまんなかにつながる「東川スタンス」拡大プロジェクト

【事業期間】R6～R8

【総事業費】217,800千円(ソフト事業217,800千円)

【R8年度事業費】68,948千円(ソフト68,948千円)

担当:保健福祉課課、生涯学習推進課ほか

【目的】子ども・子育て世帯へのきめ細やかな支援、「東川スタンス」を地域に浸透させる気運醸成、地域住民が自然体で子どもを守り育てる仕組みづくり、男性の育児参加の促進、多様な働き方の推進、若い世代が町で子どもと幸せに暮らす魅力の発信などを、総合的に進めます。

【事業概要】子ども、保護者、地域住民のそれぞれがつながりながら、安心して子育てできる環境づくりを進めます。町全体で子どもを支え、育てる文化を広げ、子育て世代に選ばれるまちづくりを推進します。

【主な内容】

- 子どもの心とからだを豊かになる事業
- パパやママが楽しく子育てしながら働ける事業
- おじいちゃんおばあちゃんが元気になる事業
- 地域みんなが明るくつながり誇りがもてる事業
- 若い世代が子どもと暮らす未来に希望が持てる事業

キトウシの森等の地域資源を生かした広域観光の魅力向上による地域経済循環の創出

【新規(1市8町広域)】観光地域経営実装プロジェクト

【事業期間】R8～R10

【総事業費】127,428千円(ソフト事業127,428千円)

【R8年度事業費】42,476千円(ソフト42,476千円)

担当:経済振興課課ほか

【目的】地域住民と、新たな関係人口としての来訪者との接点を生み出し、シビックプライドの醸成を図ります。また、都市と自然の近接性を生かし、圏域内の機能や資源を有機的に結びつけた滞在型の高付加価値商品を作成・販売することで、滞在日数の延伸と消費単価の向上を目指し、圏域内の経済波及と経済循環につなげます。

【事業概要】キトウシの森をはじめとする豊かな自然を活かした地域資源の魅力強化を図り、地域の価値を高める観光地域振興を進めます。地域住民の誇りと来訪者の満足度の両立を図ることで、持続可能な観光の実装を目指します。

【主な内容】

- マーケティングに基づくキトウシの森のポテンシャルおよびアップサイド調査事業
- キトウシの森プロモーション事業
- 旭岳などの目的地とキトウシの森の自然情報の一体化、および各目的地を新たな動線でつなぐ魅力化プロジェクト事業